



## 2018-19年度ガバナー 高橋賢吾

インターアクターがローターアクターへ、ローターアクターがロータリアンになるシステムを構築するには、ローターアクター学友、ライラ学友の設立が大切だと思います。

そして彼らとロータリアンによる「ロータリーデー」を開催してください。



## 青少年奉仕総括委員長 稲本修一

我が地区の青少年奉仕は4委員会で構成されています。

ロータリーの総予算の8割が青少年奉仕に関係するといわれています。

青少年を育てることはロータリーの将来を約束するものです。

高橋年度は学友会設立が大きなテーマでしょう。



## 青少年奉仕アドバイザー 清水清

ロータリーにおける青少年奉仕は、よりよい社会をきづくための人づくり運動です。

人づくりは短期間ではできない、長い目で見ながら忍耐強く長期にわたる取り組みが必要な奉仕活動です。

青少年の健全育成は大きな感動をあたえます。



## 青少年奉仕カウンセラー 山崎清司

インターアクト、ローターアクトの提唱クラブ、ライラセミナーに参加者を送るクラブ、青少年交換プログラムに参加しているクラブは、これらの4委員会の活動に知識と関心があります。

しかしクラブの大半はこれらに関係がないためなかなかその中身の理解が得られないのが現状です。

1年間は4委員会の活動を勉強してみましょう。

## インターアクト委員会

歴史	1962年
対象	12歳から18歳
目的	学校や地域社会のための活動と、国際理解をめざす活動を行う
地区内クラブ	水城・水戸女子・茨城キリスト教学園・水戸農業・東風

## ローターアクト委員会

歴史	1968年
対象	18歳から30歳
目的	青少年が個々の能力を開発し、友情と奉仕活動を通じて全世界の人々とより良い信頼関係を推進
地区内クラブ	真壁、水戸、土浦、下館、つくば学園、茨城県北、土浦南、古河地区、茨城大学
備考	30歳卒会という年齢制限が宿命

## 青少年並びにライラ委員会

歴史	1971年
対象	14歳から30歳
目的	地域社会の若い人々の指導力、資質や個人の能力を伸ばすこと
ライラとは	RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）

## 青少年交換委員会

歴史	1972年
対象	15～19歳
目的	異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会を与えること
地区実態	1年長期交換：米国・フランス・タイ 短期交換；タイ